

後援会だより

福井県知事選挙について (「選択の間違い」をおかさない！)

知事を選ぶということ

知事を選ぶということはとても大切なことです。知事は誰がなっても変わらないとお考えの方がいるかも知れません。でも、それは大きな間違いです。福井県の年間予算は約5000億円です。この膨大な金額の執行権を持っているのが知事です。もしこれが特定の勢力の思惑通りに執行されることになれば、私たち県民はとても不幸なことになります。

公平無私な行政を

西川知事は就任以来約16年間、公平、公正に、ひたすら福井県民のためにという強い思いで、予算を執行し県政を推進してきました。利権を断固として阻止し、無駄を省くことで、就任当初6000億円あった福井県の借金は、現在までに2000億円削減され、福井県は全国でも有数の健全財政になっています。バラマキ政策を止めたことで面白くない人々がいるのも事実ですが、県民にとっては大歓迎です。今回の選挙で、私たちが単なるイメージや成り行きで「選択の間違い」をおかすと、利権化が芽吹き、福井県民は大きな損失を被ることになります。ゆめゆめ選択を間違ってはなりません。

少数精鋭・日本一の県

西川知事は組織の効率化、スリム化にも努めてきました。現在、福井県の職員数は約2700人、福井県よりも人口が少ない鳥取、島根、高知、徳島の各県と比較しても断トツに少なく、しかも職員は優秀であり、少数精鋭の理想的な組織になっています。透明な予算執行や組織のスリム化で生み出した財源は、県下の市町との緊密な連携のもとに高齢者などの福祉や子供たちの教育に振り向けられ、その結果、福井県は幸福度三年連続No.1、小学生の学力・体力日本一、4年後の北陸新幹線開通、県内全ての市町を結ぶ高速自動車道ネットワークなど大きな成果となって結実しています。直近では福井しあわせ元気国体が施設建設に大きなお金をかけることなく、2年間どこも勝てなかった大都市東京都を大きく引き離して、この小さな福井県が天皇杯、皇后杯を獲得できたのは西川県政の象徴といえるでしょう。

これからが正念場

この流れをここで止めてはなりません。私たちには今後の4年間を一から始める暇などありません。県内に17ある市町の未来に直接係わる地方創生、新幹線敦賀まで開業に伴う在来線問題など継続する大事な案件が山積しています。福井県が大きく飛躍するには、むしろこれからが正念場なのです。豊富な経験や人脈、熟練した手腕が必要です。

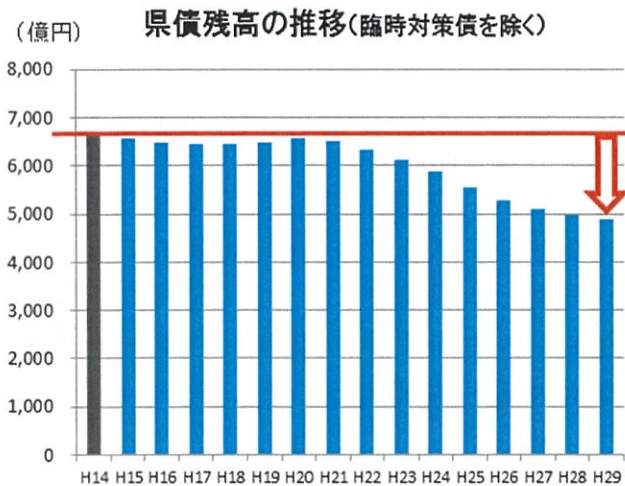
私たちは「選択の間違い」を絶対におかすわけにはいかないのです。

西川県政4期15年の実績

◇健全財政を堅持し、県民生活の向上へ

県の借金を約3割縮減！

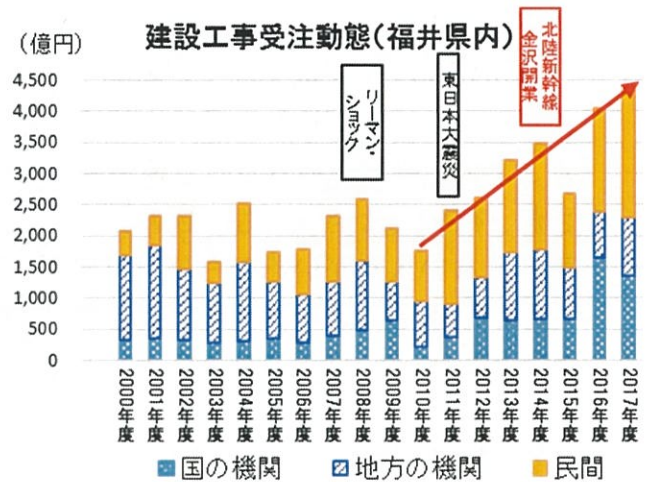
就任当時に約6,700億円あった県の借金を、**15年間で約4,800億円にまで削減（削減率27%）**。削減分は、子育て・教育、医療・福祉、経済・雇用、安全・安心など**県民生活の「質の向上」**に。



◇新幹線・まちづくりなど未来投資

北陸3県で官民投資の最も活発な県へ！

北陸新幹線、舞若道・中部縦貫道の整備、えち鉄・福鉄の相互乗り入れ、福井駅周辺の高架化など**高速交通基盤や社会インフラの整備**を国の資金を獲得しながら大きく前進。まちづくりなど民間投資も活発化。



◇雇用・中小企業対策を重点実行

若者、女性、シニアの雇用と活躍の場を拡大！

国と連携しながら県民の雇用を守り、中小企業対策、県独自の成長戦略を迅速かつ強力に実行。**失業率の低さ、求人倍率の高さは全国トップクラスを堅持！**

◇女性の元気が福井の元気

政府がめざす女性就業モデルで全国をリード！

全国に先駆けて取り組んだ「**女性活躍社会**」の推進、福井ならではの**子育て環境づくり**をすすめ、国の「男女共同参画白書」に福井県が紹介される。

◆高い雇用率の維持

- 若年者の正規雇用率：全国トップクラス堅持（全国2位）
- 学生Uターン就職率：15年間で10ポイント上昇（32%）
- 女性就業率・共働き率：いずれも日本一を堅持
- 60歳以上の有業率：全国トップクラス堅持（全国3位）

◆企業誘致の推進

- 15年間で400件以上、8千人超の雇用創出

◆福井県の経済指標も大きな伸び

- 県内総生産 15年間で13%の伸び
(2.77兆円 ⇒ 3.13兆円)
- 製造品出荷額等 15年間で21%の伸び
(1.69兆円 ⇒ 2.04兆円)

(%) 女性の就業率(国際比較)

